



## エントランス展示「ようこそ北へ 新幹線と歩んだ日本の半世紀」

展示期間：平成27年5月30日（土）～8月27日（木）

来春の新青森・新函館北斗間の開業により、新幹線はついに北の大地にやってきます。

この北海道新幹線開通にちなみ、日本の高度成長を支え、年間3億人以上の国民が利用する新幹線の半世紀の歩みを振り返る資料を展示しています。

また、北海道総合政策部交通政策局新幹線推進室の協力により、北海道新幹線開通のパンフレット配布も行っています。

## 目 次

に れ 「子どもたちにもっと本を読ませよう」	1
新館紹介	
「町民みんなが待っていた……新しい図書館！」斜里町立図書館	2～3
道内図書館（室）紹介	
「中川町中央公民館図書室「ちゃいむ」にお引越し！」中川町中央公民館図書室	4～5
こどもの読書週間（4月23日～5月12日）関連事業	6～7
子ども向け図書館ツアー「図書館のヒミツをさがせ！」	
こどもの読書週間 特設展示「大型絵本100」	
「北海道を知る絵本展」及びランチタイムブックトーク	
事業報告	8～9
平成27年度北方資料室書庫ツアー「あなたもタイムトリップ ～北方資料の世界～」	
平成27年度全道図書館新任職員研修会	
図書館情報システムの更新について	10～11
利便性向上の取組から	12
掲示板	13

に れ

## 「子どもたちにもっと本を読ませよう」

北海道立図書館長 林 秀樹

国の勢いや規模を表すのにGDPやGNPといった指標がよく使われ、我が国においても国の経済力や豊かさを計る指標として定着し評価されています。経済的な安定や豊かさが社会生活を支える基盤であるというのがその理由ではないかと思えます。

東日本大震災直後、ブータン王国の若き国王夫妻が、被災された方々のお見舞いに来日されました。その時に話題となったこととして、前ブータン国王が提唱した国民総幸福量（GNH）という「国民全体の幸福度」を示す尺度があることを知りました。その尺度においてブータンは世界第1位だそうです。どういう尺度で測定しているかということ、1心理的幸福、2健康、3教育、4文化、5環境、6コミュニティー、7良い統治、8生活水準、9自分の時間の使い方、の九つの構成になっていて、そうした観点で国民としての幸福を求めていこうという姿勢なのだそうです。

これは、経済が盛んなら、経済的に豊かなら、それで本当に人々は幸せなのか、精神的なストレスに悩む人が多い現状をどう評価するのかなどといったことが、幸せの尺度のポイントとなっており、先行き不透明な経済の動向に右往左往する我が国の社会にとって、大いに考えさせられる機会となりました。

昨今の日本社会、とりわけ子どもたちを取り巻く社会環境を見ますと、我が国の社会システムのフレームの中で、子どもたちにも大きな影響を与えています。携帯をはじめスマホなどネット社会を介在として巻き込まれる犯罪や少年による二極化する凶悪事件の発生、さらには、いじめや虐待、貧困家庭の問題など放置できない課題ばかりです。こうした背景を踏まえ、未来を託す子どもたちの健やかな成長を支えていくには、我々大人たちが腰を据えて子どもたちを取り巻く環境を整えていく必要があると思えます。

道教委では、学校・家庭・地域・行政の方々が、それぞれの役割と責任を自覚しつつ、地域全体で子どもたちを育む体制づくりを進めています。道立図書館においても、日々の学習活動や家庭教育などに大きな効果が期待できる施策の一つとして、子どもたちの読書習慣の定着に向けた取組を行っています。読書は、言葉を学び、表現力を高め、想像力を養うだけでなく、美しいものに感動する心や感性を育てるなど、豊かな人間性を育む上でとても大切なものであると思えます。

こういう時代だからこそ、子どもたちがたくさんの本との出会いを大切に、読書をとおして多くのことを学び吸収するとともに、新しい発見を通じて自分の世界を大きく広げ、生きる力を身につけた心豊かな人に成長して欲しいと願っています。子どもたちの健やかな成長を願って、図書館職員の奮闘は続きます。

## 町民みんなが待っていた……新しい図書館！

斜里町立図書館長 金田 清見

平成27年3月29日、新しい斜里町立図書館がオープンしました。延べ床面積は約1600㎡、最大蔵書冊数は12万冊です。斜里中学校グラウンド西側に建ち、町内住宅地のほぼ中央に位置して、利用者数も貸出冊数も古い図書館時代に比べると、約2～3倍に伸びています。



斜里町のそれまでの図書館は、昭和4年に町役場庁舎として建てられ、同46年に図書館として改装された建物でした。町外からたまに訪れる方からは、よく「趣きがあっていい雰囲気ですね」と言われましたが、建築後86年を経過し、建物の耐力度も限界に近づき、「古い・狭い・寒い」施設で、町内利用者からは一日も早い新しい図書館の完成が待たれていました。

新図書館建設の計画策定にあたっては、多くの町民の方々の参加をいただきました。図書館協議会はもちろん、公募委員13名と推薦委員7名で構成された「新図書館建設検討委員会」は、7カ月間に視察研修も含めて合計10回の会議を毎回じっくりと時間をかけて行いました。その開催期間は、年末年始及び年度替わりをまたぐあわただしい時期でしたが、委員の平均出席率は80%を超え、教育長に提出された意見書には「町民の声と思い」が強く染み込んでいました。

以下、新しい図書館での特徴的なことを記載します。

- ①休館日を減らし、開館時間を延長しました。つまり休館日は月曜（祝日は開館）と年末年始のみとし、開館時間は午前10時から午後8時までとしました。
- ②玄関をに入って左側には「飲食・休憩スペース」があり、飲み物の自動販売機も置かれ、よく老若男女が机やカウンターで飲んだり食べたり話したりする光景があります。

③「おはなしの木」と名づけた一室は、主に幼児や児童の読み聞かせに使われ、その床面は高さ15cm3段の階段床で、後ろに座る子どもたちにも見えやすいようになっています。



④館内には座れる場所や机が非常に多く、100人以上の椅子やソファーが各所に配置され、学習や調べものはもちろんですが、「のんびりゆったりできる空間」をも提供しています。

⑤閲覧室東側の窓からは、隣接する斜里中学校のグラウンド越しに、ウナベツ岳と遠くに知床連山が広がり、窓沿いのソファーに座った利用者がゆっくりと時間を過ごされています。

⑥町内の小学生は、通常は下校時に「寄り道」することは許されていませんが、保護者の承認と登録によって、一度家に帰らなくても図書館を利用することができる「放課後図書館直接利用登録」制度を設け、多くの児童が楽しそうに「図書館に寄り道」をしていく姿があります。



⑦この他、図書館に「学校図書館支援センター」機能を持たせて「学校巡回司書」を配置したこと、約20年の歴史を持つ「としょかん友の会」（サークル単位の参加）の他に、新たに個人ボランティアの受け皿となる「図書館サポーター制度」を創設したこと、さらには図書館利用に障がいのある方を対象にした宅配・回収サービスも開始するなどの新事業も開始しました。

このように斜里町立図書館は、新館の開館というハード面と同時に、ソフト面でも多くの新規事業を開始し、新しい歴史に向かって歩き始めています。

道内図書館（室）紹介

## 中川町中央公民館図書室「ちやいむ」にお引越し！

中川町中央公民館 主事 菊田 健司郎

平成27年1月22日、中川町生涯学習センター「ちやいむ」に中川町中央公民館図書室が移転しリニューアルオープンしました。「ちやいむ」は、旧公民館の老朽化に伴い、平成25年3月に閉校した旧中川商業高校を改修し、新たな中川町の生涯学習活動の拠点としてオープンしました。館内には、公民館、教育委員会、放課後児童クラブ、そして中央公民館図書室があります。



図書室の移転の際には、北海道立図書館や関係機関等に書架の配置や移転方法などの助言をいただき、通常の業務と並行しながら移転準備を進め、当日は、図書室職員も含めた教育委員会職員総勢で約20,000冊の蔵書の引越し作業を行い、予定通り「ちやいむ」のオープニングセレモニーに合わせてオープンすることができました。

図書室内は中川町産の木材を使った書架やテーブル、イスなどが置かれ、明るく、暖かい雰囲気の利用者からも好評で、多くの方々にご利用いただいております。また、旧図書室の約1.5倍の広さの室内には、約20,000冊の開架スペースや、小さな子どもも安心して過ごせる読み聞かせ室の他に、一人用の読書スペースを設け、図書室機能の向上を図りました。開館日・時間の見直しも行い、月曜日から土曜日までの週6日間、午前10時から午後5時30分

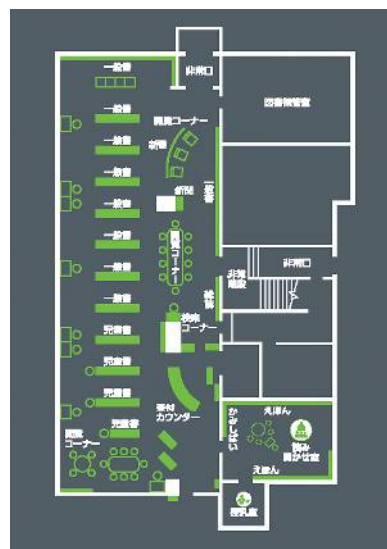
まで開館とし、利用しやすい図書室となりました。



オープンしてから5カ月が経過した現在は、昨年の同時期と比べ、入館者数は2.4倍、貸出冊数は1.6倍に増加しており、新規利用者も増えてきています。今後も利用者の目線に立ちながら、誰もが利用しやすい図書室にしていきたいと考えています。

今年の3月8日には、図書室のオープンを記念して装丁家の坂川栄治さんを講師として「本をつくるときに装丁家が考えること」をテーマに講話会を開催し、約40名の方々が参加されました。また、毎月第1土曜日は、中川町の読み聞かせサークル「のいちご」と連携し、子ども向けのおはなし会を開催しています。

今後も図書室で様々な事業展開をすることで、多くの方に本の楽しさや魅力を知ってもらい、読書活動の推進に繋がっていききたいと思います。



## こどもの読書週間（4月23日～5月12日）関連事業

### ■子ども向け図書館ツアー「図書館のヒミツをさがせ！」

期日：5月3日（日） 会場：研修室、書庫等

北海道立図書館の春の恒例事業「子ども向け図書館ツアー」。今年は「図書館のヒミツをさがせ！」と題して5月3日に開催しました。

参加した子どもたちは、図書館の様子が描かれた絵地図を手にして、いつもは入ることのできない図書館のバックヤードを探るツアーに出発。

約1時間30分をかけて児童書庫、第1書庫、第2書庫を中心に、案内の司書の話に熱心に耳を傾けながら館内各所を巡りました。中でも、昔の少年少女雑誌が多く保管されている第2書庫では、ツアーに同行した保護者の方が子どもたち以上に熱心に資料を手取る姿も見られました。



途中、館長室での記念撮影や北海道の資料を専門に扱っている「北方資料室」の紹介、そして司書が実演するエプロンシアターを楽しむなど数々の趣向もあり、終始なごやかな雰囲気と笑顔にかこまれた図書館ツアーとなりました。

参加した子どもたち、そして保護者の皆様にとっては、普段は見られない図書館の姿を知る良い機会になったのではないのでしょうか。

### ■こどもの読書週間 特設展示「大型絵本100」

期日：4月21日（火）～5月12日（火） 会場：研修室

「子ども読書の日」（4月23日）と、「こどもの読書週間」（4月23日～5月12日）にあわせて実施している特設展示「大型絵本100」は、今年で3回目となりました。

大型絵本とは、通常の4倍大きくした絵本で、主に読み聞かせに使われます。児童コーナーにも30冊ほどありますが、この時期に道立図書館で所蔵している大型絵本を100冊ほど会場に並べ、マットを敷いてゆっくりご覧いただけるようにしています。



この特設展示を始めた頃は、大人の方が読み聞かせをするために借りていかれることが多かったようですが、最近では、お子さんが自分の身体ほども大きな絵本を、一生懸命貸出カウンターへ持ってきてうれしそうに借りて行かれる姿を見かけることが多くなりました。

今年は、期間中に市内の保育園のみなさんが図書館へ遊びに来てくださり、大きな絵本に大喜びで楽しんでくれました。先生による大型絵本の読み聞かせを真剣に聞いている姿も印象的でした。大型絵本の展示は、今後も実施する予定です。 （利用サービス課）

## ■「北海道を知る絵本展」及びランチタイムブックトーク

期日：4月20日（月）～4月22日（水） 会場：北海道庁道政広報コーナー

こどもの読書週間（4月23日から5月12日）及び子ども読書の日（4月23日）にちなみ、資料展示とブックトークを行いました。

“北海道を知る絵本”をテーマに、北に生きる動植物や道内各地の伝説など、約100冊の絵本を展示し、合わせて北海道立図書館の広報コーナーを設けました。道職員に加えて一般の方々延べ約400人を迎え、楽しいひとときを過ごしてもらうことができました。特に、道内各地の伝説などを題材



としたふるさと絵本については、初めてその存在を知った方も多く、興味深そうにじっくり時間をかけて閲覧する姿が見られました。



また、昼休みには“ランチタイムブックトーク”と題し、展示資料の中から、司書が大人向けに選んだ絵本を紹介しました。テーマは「ふるさと絵本」、「キツネ」、「北海道の自然」と3日間日替わりで設定し、読み聞かせを交えて紹介しました。さらに、1日目の昼休みには「朝読・家読運動」イメージキャラクター「ぶっくん」が来

場し、賑わいました。

ここ数年は、図書館の外での活動の機会が増えてきています。今回は道庁を会場にイベントを行うことで道職員に対する広報活動もでき、大変意義のある3日間となりました。

（企画支援課）

## 平成27年度北方資料室書庫ツアー 「あなたもタイムトリップ ～北方資料の世界～」

期日：6月6日（土） 会場：研修室、第1書庫

今回のツアーは、北海道・旧樺太・千島などを扱う北方資料について知っていただくための入門編的なツアーで、22名の方にご参加いただきました。

はじめに研修室で、北方資料の特徴や主な業務など北方資料室の概要について説明したあと、第1書庫に移動して2層から地層までの各フロアを案内しました。

まず2層では、書庫を巡りながら、地形図、殖民地区画図、絵葉書、北方資料コレクションなどについて説明し、また江別の今昔がわかる資料をはじめ、形態の特殊な資料として『江別カルタ』や『旧蝦夷風俗図屏風』などを紹介しました。

続いて1層では、マイクロフィルム、市町村勢要覧、雑誌、パンフレットなどについて説明し、実際の利用方法なども交えて何点かの資料を紹介しました。

最後の地層では、電話帳、北方資料コレクション、新聞原紙、市町村広報などを紹介しました。貴重な北方資料コレクションのひとつである札幌オリンピック資料については、当時の熱狂が伝わる写真の掲載された雑誌やポスターをはじめ、旗や提灯などの関連グッズもあわせて紹介しました。ツアー中は参加者から資料の整理・保存方法や紹介した資料についてなど、さまざまな質問が寄せられ、活気のある内容となりました。

アンケートでは、1時間のツアーだったこともあり、「時間が短かった。」などの声も多く聞かれましたが、「貴重な資料が数多くあることに驚いた。今度、有効に利用したい。」「説明わかりやすかったです。また来たいです。」といった今後の利用に繋がる感想も多くいただきました。

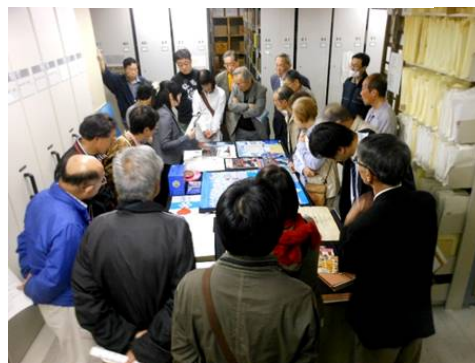
(北方資料課)



北方資料室の概要説明



書架のあいだを縫うように案内



札幌オリンピック資料などの紹介

## 平成27年度全道図書館新任職員研修会

この研修会は、図書館活動に必要な基本理念の理解及び基礎知識の習得を図ることを目的に、毎年道内の公立図書館、公民館図書室に勤務して1年未満の職員を対象として実施しています。今年度から学校図書館に勤務されている方々にまで参加の対象を広げ、全体を通して例年よりも多くのご参加をいただきました。



講師には、道立図書館職員のほか、道内の図書館で活躍する職員を迎え、図書館員としての心構えや、図書館現場の基本的な技術を学ぶ場としました。

また、事後課題のレポートを作成することで、各職場に戻ったあとも研修内容の定着を図っています。



■期 日：6月5日（木）～6日（金）

■会 場：北海道立図書館研修室

■参加人数：43名

■日 程：

### 【1日目】

講義「図書館の今とこれから」 北海道立図書館利用サービス課企画主幹（レファレンス） 一戸 泰

講義・演習「児童サービス」 滝川市立図書館事業推進係長 深村 清美 氏

情報交換 北海道立図書館企画支援課主任 西岡 祐子

### 【2日目】

講義「著作権法 入門編」 北海道立図書館資料課主査 今野 徹

講義「カウンターのオキテ～新人のココロエとは！？～」  
市立小樽図書館事務職員 海藤 久仁子 氏

講義「資料収集」 沼田町図書館主事 菊池 詩織 氏

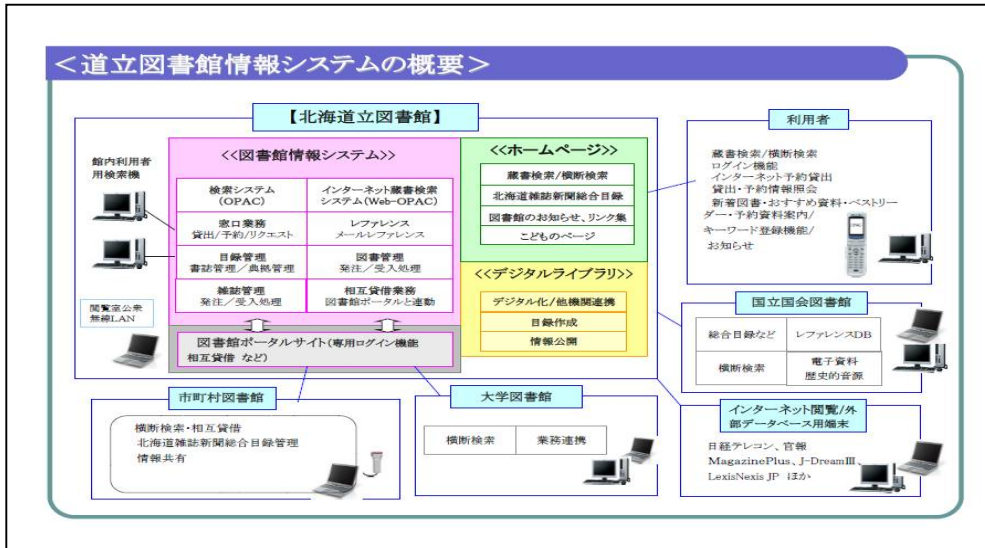
講義・施設見学「道立図書館の使い方」 北海道立図書館北方資料課主査 工藤 嘉一

### ■事後アンケートから

- ・ 実際の図書館業務から著作権、これからの将来像まで幅広い知識を得ることができました。
- ・ 司書としてカウンター対応を行う上で、大切なことを再認識することができました。
- ・ 学校司書として勤務しています。求められるスキルが多く不安ではありますが、研修を通じて様々な協力を得られることを知り、心強く思いました。
- ・ 講義や情報交換から、他の図書館の実情や取組について知ることができ、仕事の幅が広がったと思います。 (企画支援課)

## 図書館情報システムの更新について

今年3月9日に図書館情報システムの更新を終え、現在は、安定的運用に向けて管理、調整を行っています。当館のシステムの概要図は次のとおりです。



今回の更新内容については、「情報システム全体最適化の取り組み方針（北海道）」を踏まえ、「北海道立図書館事業推進計画 平成25～29年度」の7本柱のうち、「北方資料サービス」と「連携」を中心に、新たなサービスの発信と位置づけ、課題であった地域のデジタルコンテンツの充実に焦点を絞りました。当館の「北方資料デジタル・ライブラリー」をポータルサイトとして、関係機関と連携し、道立図書館以外の資料も北海道内の貴重なデジタル化資料として、多くの利用者に活用いただけるよう、検索や登録機能の追加を行いました。(次ページで具体的な機能を紹介)

その他の機能については、図書館等や利用者の方が、より「わかりやすく」「利用しやすく」を中心に、前システムの機能に加えて新たな機能を追加しました。主な機能は、蔵書検索で、「道新（略語）」等、今までノイズ対策として一部検索できなかった検索キーワードの改善を行いました。それにより、増えたヒットした資料を絞り込む機能や該当したキーワードを色付し見やすく表示するハイライト機能を追加しました。

また、当館の検索にのみとどまらず、同一画面で、道内公共図書館等横断検索、国立国会図書館、大学図書館等の蔵書検索ができるリンク機能を追加し、探したい多くの資料がヒットするように改善しました。ホームページは高齢者、障がい者に配慮したウェブアクセシビリティ対応のほか、スマートフォン対応、デザイン・階層等を見直し、必要な情報にアクセスできるように整備しました。

(利用サービス課)

## ■北方資料デジタル・ライブラリーの更新

今まで当館北方資料室で所蔵している貴重書や古地図・古文書等をデジタル化して紹介していた「北方資料デジタル・ライブラリー」を、この度、道内の様々な機関や図書館と連携し、より多くのデジタル化した北方地域資料の検索・閲覧ができる総合的なアーカイブシステムを



新デジタル・ライブラリーのトップページ

目指してリニューアルしました。主な特長は次のとおりです。

### (1) 他のデジタルアーカイブをあわせて横断検索

道内の検索可能なデジタルアーカイブと連携して、デジタル化資料を横断的に検索できるようになりました。平成27年7月現在、北海道博物館(旧北海道開拓記念館)、札幌市中央図書館、函館市中央図書館、苫小牧市立中央図書館、北海道大学附属図書館の道内5機関と、「国立国会図書館近代デジタルライブラリー」のデジタル化資料を同時に検索できます。

### (2) 当館以外の機関が資料を登録・公開

デジタル化資料を持っている希望機関と連携して、「公開館」として参加いただき、随時各機関で作成した資料を登録・公開できるようになりました。各公開館には、当館同様のトップページを持ってもらい、コレクション一覧やお知らせなどを独自に紹介できるようになっています。平成27年7月現在、北海道立文書館、北海道立埋蔵文化財センター、旭川市図書館、北見市立図書館が公開館として参加しています。例えば開拓使時代の文書や、各機関の刊行物、地元の写真や雑誌など、様々な資料が新たに公開されました。

検索方法についても、「総合検索」において横断検索館、公開館を自由に選んで検索ができるほか、特定の地域に関する資料を検索する「地域検索」、表示している公開館のみを検索対象にできる「公開館内検索」、またキーワードで簡単に検索する「簡易検索」もあります。

現在、外部サイトもあわせると、2万点以上のデジタル化資料から検索できます。今後も、公開館や公開資料の増加を目指していきます。北海道、旧樺太、千島等のデジタル化資料をお探しの際は、ぜひ「北方資料デジタル・ライブラリー」をご活用ください！

北方資料デジタル・ライブラリー <http://www3.library.pref.hokkaido.jp/digitallibrary/>

(北方資料課)

## 利便性の向上の取組から

～直接貸出しの制限冊数拡大と学校図書館への貸出し～

今年度4月1日から始めた新たな取組について紹介します。

### ■直接貸出しの冊数を1人1回につき5点から10点以内に拡大

当館は昭和42年4月、現在地に移転した当初から、一般の方への本の貸出しは市町村の図書館（室）を通じて行う方式をとっていましたが、平成11年8月に一般の方への直接貸出しを1人1回につき5点以内・貸出期間を15日間として始めました。

以来、「市町村立図書館（室）を支援する図書館」だけでなく「道民みんなの図書館」として、直接貸出しも定着してきましたが、「1度に借りられる冊数を増やしてほしい」という声が聞かれるようになり、家族で利用者カードを作り多くの本を借りていく方や5点以内に絞り込むのに苦労される方も見られるようになりました。

これらのことから、一昨年度の蔵書点検期間中と昨年度の読書週間以降、1人1回につき10点以内とする試行を実施してきました。

試行期間中は、子どもたちや実用書を利用される方を中心に好評だったことから、今年度1人1回につき10点以内へと利用規則を改正しました。

貸出しされる冊数は、以前に比べ40%～50%の増加となり、平日で1日500冊程度、土・日曜日・祝日には1日で1,000冊を超える日もあります。

今後も利用者のニーズや利用実態を分析しながら、利便性の向上に努めていきます。

### ■学校図書館を協力貸出しの対象館に

昨年度実施した「道立学校図書館支援貸出し」の試行を基に、今年度からすべての学校図書館を市町村立図書館（室）や大学図書館等と同様に協力貸出し（図書館間貸出し）の対象に加えました。

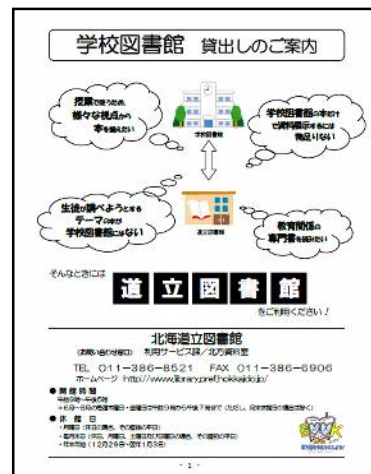
これにより、当館の資料（本や雑誌等）を道内の学校に直接送付し利用いただけるようになりました。

活用事例としては、学校祭等に合わせた展示、芸術鑑賞や見学旅行の事前学習、調べ学習やレポート作成のため関連本の補完等があります。

当館では、多様なジャンルによりすべての教科等に役立つ資料を揃えています。授業用副教材、先生方の参考資料としても幅広くご利用いただきたいと思います。

なお、利用のご案内は当館のホームページでご覧いただけます。

※ トップページの左側・下方「学校の先生方へ」> 学校図書館協力貸出しのご案内  
(利用サービス課)



## 掲 示 板

### <インターネット予約貸出の受取場所として道議会図書室を指定できるようになりました>

現在117市町村140館で申し込んだ本の受け取りができるインターネット予約貸出サービスが、平成27年4月1日から、道議会図書室でも受取可能となりました。

受取窓口を開設しているのは毎週火曜、木曜（国民の祝日、年末年始を除く）の午前9時から午後5時までです。（開設日時ご注意ください）

ご利用の際は、道議会庁舎1階の受付に申し出て、入庁証をお受け取りください。

### <職員人事異動>

退 職 平成27年3月31日付け

利用サービス部長 金 山 聖 子

退 職 平成27年5月31日付け

館 長 坂 本 和 彦

転 出 平成27年4月1日付け

企画支援課長 吉 原 和 夏 子（生涯学習推進局生涯学習課主幹へ）

管理課主査 秋 田 則 子（教育職員局教職員事務センター主査へ）

転 出 平成27年6月1日付け

総務企画部長 小野田 元（教育職員局参事（渉外）専門参事へ）

企画支援課主査 伊 藤 嘉 奈 子（オホーツク教育局教育支援課主査へ）

管理課主事 高 山 奈 々（石狩教育局企画総務課主事へ）

転 入 平成27年4月1日付け

副 館 長 村 田 智 己（根室教育局長から）

利用サービス部長 伊 藤 信 彦（生涯学習推進局生涯学習課主幹から）

管理課主査 吉 田 稔（上川教育局教育支援課教育支援係長から）

転 入 平成27年6月1日付け

館 長 林 秀 樹（総務政策局長から）

総務企画部長 伊 藤 敏 文（学校教育局健康・体育課主幹から）

管理課主任 首 藤 謙 介（留萌教育局企画総務課主任から）

再任用 平成27年4月1日付け

管理課主任 川 端 道 隆（任用期間更新）

利用サービス課主任 鈴 木 浩 一（任用期間更新）

資料課主任 佐 藤 良 雄（任用期間更新）

館内異動（昇任を含む） 平成27年4月1日付け

企画支援課企画主幹 中 田 こずえ（資料課主査から）  
北方資料課主査 山 本 真 紀（北方資料課主任から）  
資料課主査 今 野 徹（資料課主任から）

館内異動 平成27年6月1日付け

企画支援課主事 國 安 華 子（利用サービス課主事から）

北海道立図書館報 第199号

平成27年 7月19日 発行

北海道立図書館長 林 秀 樹

〒069-0834 江別市文京台東町41番地

TEL：011-386-8521（代 表）

ダイヤルイン

386-8531（総務企画部）

386-8522（利用サービス部）

386-8523（北方資料室）

FAX：011-386-6906

E-mail：support@library.pref.hokkaido.jp

ホームページ：http://www.library.pref.hokkaido.jp